

9 三陸町越喜来(おきらい)

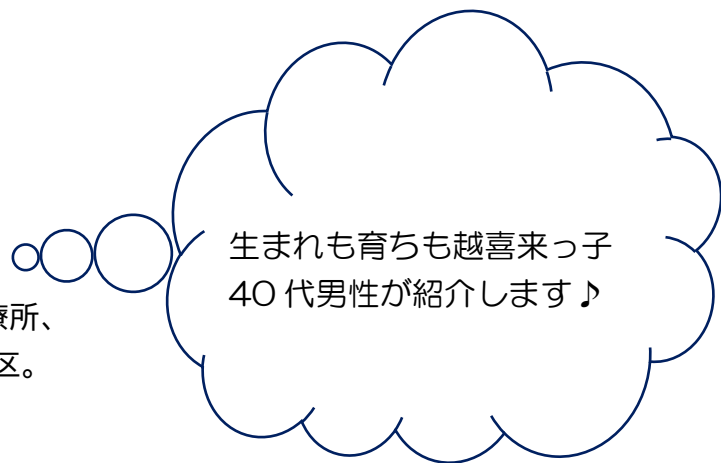
生業の中心は、市役所三陸支所、越喜来診療所、越喜来こども園、越喜来小学校がある「浦浜」地区。



←小学校で行われる
環境学習の様子

越喜来っていうところは

北から「崎浜」、「浦浜」、「甫嶺(ほれい)」地区があり、越喜来湾の入り江を囲むように繋がっている小さな漁師町です。



生まれも育ちも越喜来っ子
40代男性が紹介します♪



定置網漁とホタテ、ホヤ、ワカメなどの養殖
漁業が盛んな地域です。

…最高！

少子高齢化をはじめ東日本大震災津波で漁業の担い手不足が進みましたが、近年、地元の若者たちが立ち上がり、漁業の再興を起点とした地域の再生に挑戦しています。

越喜来では、

海での共同作業や草刈りなどの地域行事。

横浜念仏剣舞、浦浜念仏剣舞、
甫嶺権現舞の伝承を通じた世代
間交流や、地域の文化を大切に
しています。



地域の人々は

漁師町らしく 義理と人情に熱い人が多く
あまり自分にとっての損得勘定を考えない人ばかり。



暮らし方

季節ごとに獲れる豊かな魚介類が食の中心。
越喜来は海だけではなく山もあり、自然がいっぱい。
お隣さんとの距離が近く、人との繋がりが温かい。

かつて、北里大学水産学部が横浜地区にあったため、
地域外からの人の受け入れに好意的な見方をする人が
多いことも特徴です。

すこーしだけ、きついことをいうようだけれど…

やっぱり、一大決心をして、移住をしてきたのに、悲しい思いをしてほしくないのです。

せっかく来てくれたのに、迎えた地域の人たちだって、悲しくなるよね。

もし、漁師を目指して移住を考えているのであれば、「海が相手の危険な仕事」だということ、
「一年を通して収入の波が激しい」など、海と共に生きる覚悟があれば大丈夫！

海、山に囲まれた小さな漁師町で、義理人情に甘えて、自分らしい暮らしを見つけてみてはい
かがですか？

軽トラ最高！

田舎といえば、不便を楽しむところ。

越喜来は、公共交通機関が乏しく、盛と釜石をつなぐ「三陸鉄道リアス線」の「三陸駅」が浦浜地区、「甫嶺駅」が甫嶺地区にあります。

移動手段は自家用車がメインとなり、田舎では、悪路にも強く、荷物を運ぶことができる軽トラックの実力には、どんな高級車も敵いません★ぜひ、お試しあれ！



「なべやき」といえば？

「うどん」ではありません！

大船渡地方の

★ソウルフード&スイーツ★！

簡単にいえば、フライパンで作るホットケーキのようなもの。

もちもち食感と、各家庭で味が変わるのも楽しい！



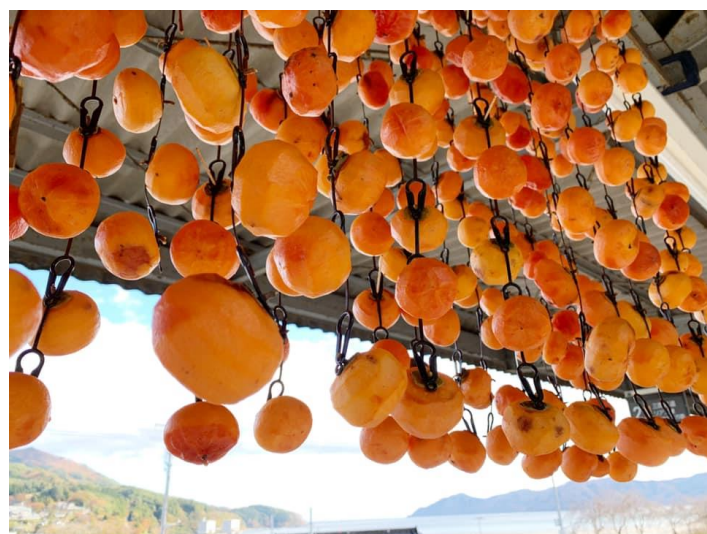
小枝柿も最高だね。

ころ柿とも呼ばれる。

この地域でしか「種なし」にならないといわれている柿。

弘法大使との由縁があるとかないとか。古くから地域に親しまれている柿です。

手間を惜しまずに、昔ながらの手作りにこだわった干し柿は、数量も少なく、季節限定の地域の宝です。



越喜来のおすすめスポット！

★首崎(こうべさき)



越喜来半島の一番東にそそり立つ岩峰は、まさに海のアルプス！



首崎灯台までの道のり

最高！

★ド根性ポプラ

東日本大震災津波に耐え、
生き残った大船渡市の復興のシンボル！

★三陸大王杉

根廻り約13.75m、樹高20m、
樹齢7,000年！の大王杉は、
越喜来地区のパワースポット！



三陸大王杉（手前） と ド根性ポプラ（右奥）



★夏虫山

標高717mの山頂から望む
太平洋は絶景！
春のツツジ。
秋の紅葉が有名です。

素晴らしい
眺め！